

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 岐阜県立高等学校文化部活動振興費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

岐阜県環境生活部県民文化局 文化伝承課 教育文化係

電話番号：058-272-1111 (内 3578)

E-mail：c11148@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 4,300 千円 (前年度予算額：4,300 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	4,300	0	0	0	0	0	0	0	4,300
要求額	4,300	0	0	0	0	0	0	0	4,300
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・原則として東海・中部・全国大会に出場した、県立高等学校の部活動 (推進指定校) に係る経費の一部 (遠征費、運搬費等) を補助。
- ・全国大会等に出場する経費や日常の文化部活動に係る経費の軽減により、全国大会出場への意識の高揚、日ごろの取り組みの意欲向上、部門における技量の上達を図る。
- ・現在着実に成果を上げている文化部活動各部の適切な評価と活動のさらなる奨励により、特色ある文化部活動への一層の支援の拡充を計画。

(2) 事業内容

推進指定校に補助金 (4,300 千円) を交付。

補助金額は、各部の実績等、各種基準により算出。

(3) 県負担・補助率の考え方

顕著な活動が見られる文化系部活動を推進指定校とし、経費の一部を補助することにより、充実した活動環境の整備を支援。

県立高等学校で日々懸命に部活動に取り組む生徒を支援する事業であり、県の負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

なし。

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	4,300	各種基準に基づき配分された額を、各推進指定校に分配。
合計	4,300	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第3次岐阜県教育ビジョンの基本方針の1つ「ぎふへの愛着をもち、世界に視野を広げ活躍する人材の育成」において、取り組むべき目標に「スポーツ・文化等の分野で個性を伸ばす教育の推進」が掲げられており、そのためにも文化部活動の活性化を図ることが必要。

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

補助事業名	岐阜県立高等学校文化部活動振興費補助金
補助事業者（団体）	各高等学校部活動後援会等 （理由）県内高校の文化部活動の振興が本県の文化の向上に不可欠との観点から、全国大会出場等の実績を有する部に対して、経費の一部を負担。
補助事業の概要	（目的）岐阜県立高等学校文化部活動の一層の強化・推進を図るため。 （内容）県立高等学校の文化系部活動の実施に伴う経費に対し、予算の範囲内で補助金を交付。
補助率・補助単価等	定額・定率・ その他 （例：人件費相当額） （内容）原則的に、東海・中部・全国大会に出場した部活動を推進指定校として認定し、活動経費の一部を補助。 （理由）過去3年間の実績に応じて例年約30校50部に効果的な配分を行い、旅費や運搬費等の経費の一部を補助。
補助効果	<ul style="list-style-type: none"> ・全国大会出場への意識の高揚、日ごろの取り組みの意欲向上、部門における技量の上達を期待。 ・文化部活動各部の適切な評価と活動のさらなる奨励により、特色ある文化部活動への一層の支援の拡充を計画。
終期の設定	終期 R6 年度 （理由）全国高等学校総合文化祭が岐阜県で開催される、一つの大きな節目であるため。

（事業目標）

<ul style="list-style-type: none"> ・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか 全国レベルの大会で上位入賞できる部の増加。
--

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2 年度 実績	R3 年度 目標	R4 年度 目標	終期目標 (R6)	
						達成率
① 全国大会・世界大会で上位入賞した部数		3	5	6	8	38%

	H30 年度	R1 年度	R2 年度
補助金交付実績	4,300 千円	4,300 千円	4,214 千円

(前年度の成果)

全国大会等に出場する経費や日常の文化部活動に係る経費の軽減、文化部活動各部の適切な評価、文化部活動のさらなる奨励によって、全国大会上位入賞を継続して排出。推進指定校制度による意欲向上と各専門部会で切磋琢磨する雰囲気醸成。

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>日々の活動や大会出場にかかる経費の軽減。文化部活動各部の適切な評価によって、全国大会上位入賞を継続して排出。推進指定校制度による意欲向上と切磋琢磨する雰囲気醸成。</p> <p>指標① 目標：8校 実績：3校 達成率：38%</p>
令和3年度	<p>令和5年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>
令和4年度	<p>令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>

(事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断）</p> <p>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価)	<p>3</p> <p>推進指定校として必要経費を補助することが各学校の文化部活動の動機づけの一つとなり、全体の活性化につながっているのは明白で、将来の県民文化の一層の発展のためにも本補助金は必要。</p>
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか）</p> <p>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価)	<p>3</p> <p>推進指定した部のいくつかがほぼ毎年全国レベルの大会で上位入賞を果たしているという点で、本補助金は有効。</p>
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか）</p> <p>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価)	<p>2</p> <p>毎年度末の事業の報告書などの確認により、各学校へ補助金の活用方法を助言しており、効率的な補助金の活用を継続して推進。</p>

(今後の課題)

事業が直面する課題や改善が必要な事項

- ・当補助金の趣旨の周知や活用法の助言。
- ・県高文連各専門部会や各校部活動の活動状況の正確な把握と適切な評価。
- ・補助金の適正な分配方法や配分額のさらなる研究。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

継続すべき事業。第3次岐阜県教育ビジョンの中にも「スポーツ・文化等の分野で個性を伸ばす教育の推進」が掲げられており、次世代を担う高校生の芸術文化活動を支援していくことは大切。より適切な評価と補助金の配分を目指す。